研究タイトル：

外国語辞書の研究



氏名：	鈴木　聡　／　Satoshi　Suzuki	E-mail：	t3104@toba-cmt.ac.jp
職名：	教授	学位：	修士(英文学)

所属学会・協会：	関西英語辞書学研究会、岩崎研究会
キーワード：	和英辞書の研究、英語辞書の研究、和独辞書研究　、古辞書の研究
技術相談 提供可能技術：	辞書に関する情報・閲覧(ただし、その場での閲覧のみ。貸しだしは不可)

研究内容：和英辞書の記述に関する研究、様々な外国語辞書の収集・分析





「『ライトハウス和英辞典』と『ルミナス和英辞典』における社号に関する一考察」『鳥羽商船高等専門学校』（第 32 号）

「過去の和英辞典の記述に関する一考察―神社社号を例にして」『鳥羽商船高等専門学校』（第 33 号）

「『広辞苑』と『岩波国語辞典』における社号の記述に関する一考察」『鳥羽商船高等専門学校』（第３４号）

「明治～昭和初期における国語辞典が和英辞典に与えた影響に関する一考察」『鳥羽商船高等専門学校』（第 34 号）

「茶杓の記述に関する一考察」『鳥羽商船高等専門学校』（第 35 号）

「過去の和英辞典の記述に関する一考察―神社社号を例にして(2)」『鳥羽商船高等専門学校』（第 35 号）

「和英辞典における日の丸及び日の丸の記述に関する一考察」『鳥羽商船高等専門学校』（第 36 号）

「英語学の視点からみた和独辞書史に関する一考察」『鳥羽商船高等専門学校』（第 36 号）

「写真で見る英和辞典の歴史―三省堂クラウン英和辞典の場合」『鳥羽商船高等専門学校紀要』（第 38 号）

「写真で見る和英辞典の歴史―三省堂新クラウン英和辞典の場合」『鳥羽商船高等専門学校紀要』（第 39 号）

「和蘭字彙が和英辞書をはじめとする諸外国語辞書作成に与えた影響に関する一考察」『鳥羽商船高等専門学校紀要』（第 39 号）

辞書で見る古書の世界　2016 年　8 月　みえアカデミックセミナー講師

「辞書の大きさの概念における一考察」『鳥羽商船高等専門学校紀要』（第 42 号）

「辞書のネーミングとロゴに関する一考察」『鳥羽商船高等専門学校紀要』（第 43 号）

各種辞書（和英辞典・国語辞典・和独辞典）の記述内容について研究しています。また辞書の記述史や言葉そのものの変遷を調査するために、古今の内外の様々な辞書も収集しています。一番右の写真は三省堂の GEM 英和和英辞典の初版から第 7 版です。右はドイツ語の豆本タイプの辞書です。

研究タイトル：

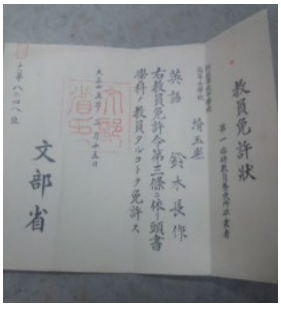
臨時教員養成所卒業生の研究

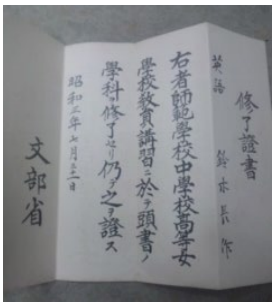


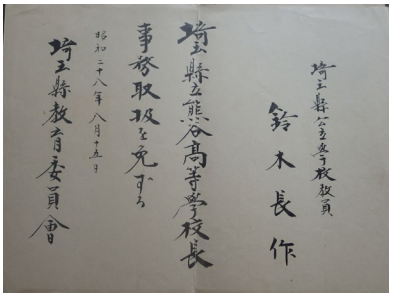
氏名：	鈴木　聡　／ Satoshi　Suzuki	E-mail：	t3104@toba-cmt.ac.jp
職名：	教授	学位：	修士(英文学)
所属学会・協会：	日本英語教育史学会		

キーワード：	東京高等師範附設臨時教員養成所　、英学史、英語教育史
技術相談 提供可能技術：	臨時教員養成所関係の資料の開示・閲覧（ただし、その場での閲覧のみ、貸し出し不可）

研究内容：東京高等師範学校附設臨時教員養成所卒業生の研究（官位官等・業績等）









【論文】

「英学者の痕跡本に関する一考察」『鳥羽商船高等専門学校第』（第 36 号）

「濱林生之助に関する一考察―濱林はなぜ小樽高等商業学校教授に転出できたのか」『鳥羽商船高等専門学校』（第 37 号）

「旧制高等商業学校教授についての一考察―竹原常太、細江逸記、濱林生之助及び河村重治郎を例にして『鳥羽商船高等専門学校』（第 39 号）

「臨時教員養成所卒業生の動向に関する一考察」『鳥羽商船高等専門学校』（第 39 号）

「書評「外山敏雄著『日本の英語教育を彩った人たち』」『鳥羽商船高等専門学校』（第 39 号）

「戦前～戦後初期における高等教育機関の教員人事に関する一考察 」鳥羽商船高等専門学校紀要（第 44 号）

「臨時教員養成所卒業生の国家としての評価―他機関卒業生と比較して 」日本英語教育史学会第 286 回研究例会 2022 年 1 月 8 日発表

「東京第一臨時教員養成所卒業生の赴任地決定及びその後の動向に関する一考察―他機関卒業生と対比して」鳥羽商船高等専門学校紀要（第 45 号）

【賞】：第 39 回全国大会発表賞（最優秀賞），日本英語教育史学会 発表内容：「東京高等師範学校文科第三部卒業生と東京第一臨時教員養成所英語科卒業生　（大正 13 年、15 年、昭和 2 年、5 年、6 年卒）の給費・私費別学生の進路先及び就職後の動向について 」

臨時教員養成所は日本教育史の中で傍系的存在の教育機関であり、卒業生の評価も低かったとされている。だが、果たしてそれは真実だろうか。筆者の祖父は昭和 54 年に勲四等旭日小授章を授与された。また、死後は従四位を授与されているが、これは上智大学名誉教授小稲義男や東京学芸大学名誉教授安良岡康作と全く同じ位階勲等である。同時に、ここ数年発表されている旧帝大教授でも叙位は祖父と同じであるものの、叙勲は祖父よりも 1 段階下の四等瑞宝章も珍しくなってきている。このことからも、従来の臨時教員養成所卒業生に対するステロタイプの評価も見直す必要があると考えられる。この他にも最近では英語教育史で活躍した実業専門学校教員についても資料を収集・分析を行っている。

所属：鳥羽商船高等専門学校　一般教育

研究タイトル：

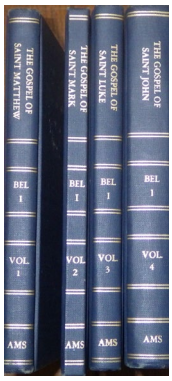
外国語聖書を通じての語法研究

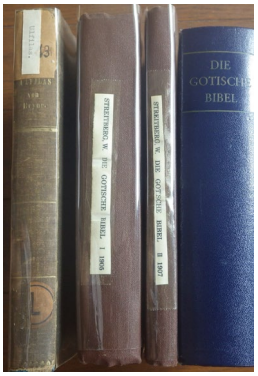


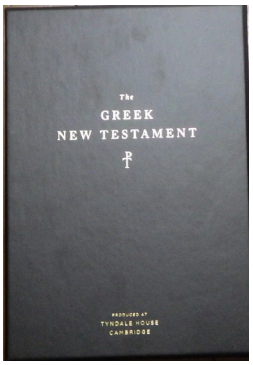
氏名：	鈴木　聡　／ Satoshi　Suzuki	E-mail：	t3104@toba-cmt.ac.jp
職名：	教授	学位：	修士(英文学)
所属学会・協会：	英語語法文法学会		

キーワード：	古英語　ゴート語　聖書ギリシャ語　聖書ヘブル語
技術相談 提供可能技術：	古英語、ゴート語、聖書ギリシャ語、古アイスランド語の講読を通じての英語の語法研究及びラテン語及びヘブライ語学習

研究内容：古典語の聖書を通じての講読研究

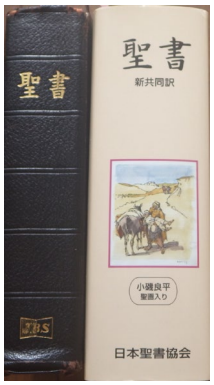












「『主の祈り』(マタイによる福音書第 6 章 9 節～13 節)における比較言語学的考察」『鳥羽商船高等専門学校紀要』 (第 31 号) 2009 年

「翻訳:アポロニウス物語―初期西サクソン語版」『鳥羽商船高等専門学校紀要』 (第 33 号)　2011 年

「教材研究をするための英語史と第二外国語の知識の重要性について―good(well)-better-best と bad(ill)-worse-worst を例にして」『鳥羽商船高等専門学校紀要』　(第 37 号) 2015 年

「英語教師のための古典語学習案内」『鳥羽商船高等専門学校紀要 』(第 40 号)　2018 年

現代英語を理解するうえで、英語史の知識は必要不可欠である。同時に、その他のゲルマン系言語の知識も必要不可欠である。筆者は学部 3 年～4 年にかけて古英語・ゴート語・ラテン語・ギリシャ語について学習を開始して以来、長期間に渡って英語の語法研究を実施してきた。その結果、古英語・ゴート語・聖書ギリシャ語が分かると現代英語の語法問題点も自ずと理解できることが判明してきた。英語の語法に興味があり、文献学的な面から研究したい人がいれば、ぜひ共同研究を実施したい。また、新たなチャレンジとして聖書ヘブル語や古アイスランド語取得も視野に入れている。まずは一緒に初歩から聖書ヘブル語や古アイスランド語を学習する同志を募りたい。また、ラテン語もだいぶ忘れているので、一緒に初歩から学習する同志を募りたい。なお、使用する日本語聖書は文語訳、口語訳、共同訳及び新共同訳である。写真は一番左が古英語聖書、左から 2 番目はゴート語聖書、3 番目と 4 番目はギリシャ語聖書である。5 番目はヘブル語聖書、6 番目は口語訳聖書と新共同訳聖書である。

所属：鳥羽商船高等専門学校　一般教育

研究タイトル：

非英語圏における英語教育の研究

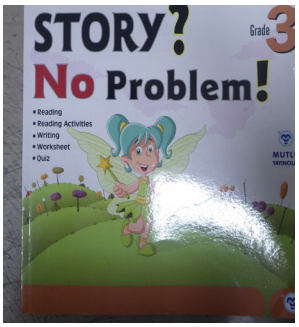


氏名：	鈴木　聡　／ Satoshi　Suzuki	E-mail：	t3104@toba-cmt.ac.jp
職名：	教授	学位：	修士(英文学)
所属学会・協会：	全国高等専門学校英語教育学会		
キーワード：	Common European Framework of References(CEFR と略)		
技術相談 提供可能技術：	CEFR に基づいた英語授業の在り方　CEFR に基づいた英語教科書の分析等		

研究内容：トルコ共和国における CEFR 準拠の授業







「英語四技能化入試を実施する上での注意点」『鳥羽商船高等専門学校紀要　』（第 40 号）　2018 年

「トルコの英語教育について～ITU（イスタンブール工科大学）での在外研究報告～ 」中部地区英語教育学会三重支部 2018 年

「日本とトルコの小学校の英語教科書に関する一考察」『鳥羽商船高等専門学校紀要』（第 41 号）2019 年

「英語検定試験受験者に対 CEFR 準拠のリスニング試験の実施」（日本教育工学会ポスター発表）2020 年

文科省では大学入試において CEFR を基準として各民間団体の英語試験を通じて、4 技能に関する英語力を測定することを考えていたが、実際にはその計画は頓挫した。筆者は 2017 年 4 月～2018 年 3 月までトルコ共和国のイスタンブール工科大学で CEFR に準じた教材、授業方法、テスト評価について研究してきた。その結果、日本で考えられている各検定試験と CEFR の対応表は大幅に乖離していることが判明している。さらに、トルコで使用している小学生対象の教科書やワークブックは日本が考えている教科書よりもはるかに程度の高いものである。また、日本国内で販売されている中高の教科書においても CEFR ベースで作成されている教科書と比較するとはるかに扱われている語彙数が少ない。リスニングやライティングに関しては日本は CEFR 基準で判断するとレベルが低い。以上の経験を活かし、小学校から高校までの教科書のあり方や、CEFR 準拠の教科書と学習指導要領準拠の教科書における違いなどについて共同研究できる人を求めている。左側の写真は筆者が在籍した School of Foreign Languages, 中央は CEA による Certification, 右はトルコの小学校３年生用の教材である。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	
CEFR 準拠のの問題集や参考書の提示	
CEFR 準拠のテスト問題の提示	

研究タイトル：

海事英語の研究



氏名：	鈴木　聡　／ Satoshi　Suzuki	E-mail：	t3104@toba-cmt.ac.jp
職名：	教授	学位：	修士(英文学)
所属学会・協会：	全国高等専門学校英語教育学会		

キーワード：	海事英語・国家試験対策、CEFR、SMCP
技術相談 提供可能技術：	海事英語の指導

研究内容：CEFR に基づいた SMCP 対応の海事英語の研究

「イスタンブル海峡南口における錨泊船の安全性評価に関する研究 ―船舶通信モニタリングシステムの設置」(共著)『鳥羽商船高等専門学校紀要 第 41 号 』 (2019)

「海上安全情報の特徴抽出と自動処理に関する研究」(共著)『日本航海学会論文集』(2019)

「海事英語における CEFR 準拠教材開発とカリキュラム検討」(共著)日本教育工学会 2024 年春季全国大会(第 44 回大会)

商船学科の学生の国家試験対応について、長年対応しているが、そのほとんどは英文和訳である。実際に海事英語で出版されている教科書・参考書は英文和訳だけといっても過言ではない。しかし、海外に目を向けてみると、同じ海事英語でも英語の四技能全般にわたって、バランスよくまとめられている。例えば、トルコ共和国のイスタンブル工科大学では『Maritime English for Turkish Seafarers Ⅰ』という海事学部専用のオリジナルテキストを開発しているが、この書籍は CEFR をベースに作成されたもので非常に効率的且つ実践的な内容になっている。さらにこのテキストは SMCP にも対応している。残念ながら、日本ではこのようなバランスのとれた実践的なテキストはこれまでに作成されていない。そこで筆者は商船高専生を対象に CEFR に基づいた SMCP 対応の海事英語の教科書を作るべく研究している。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	